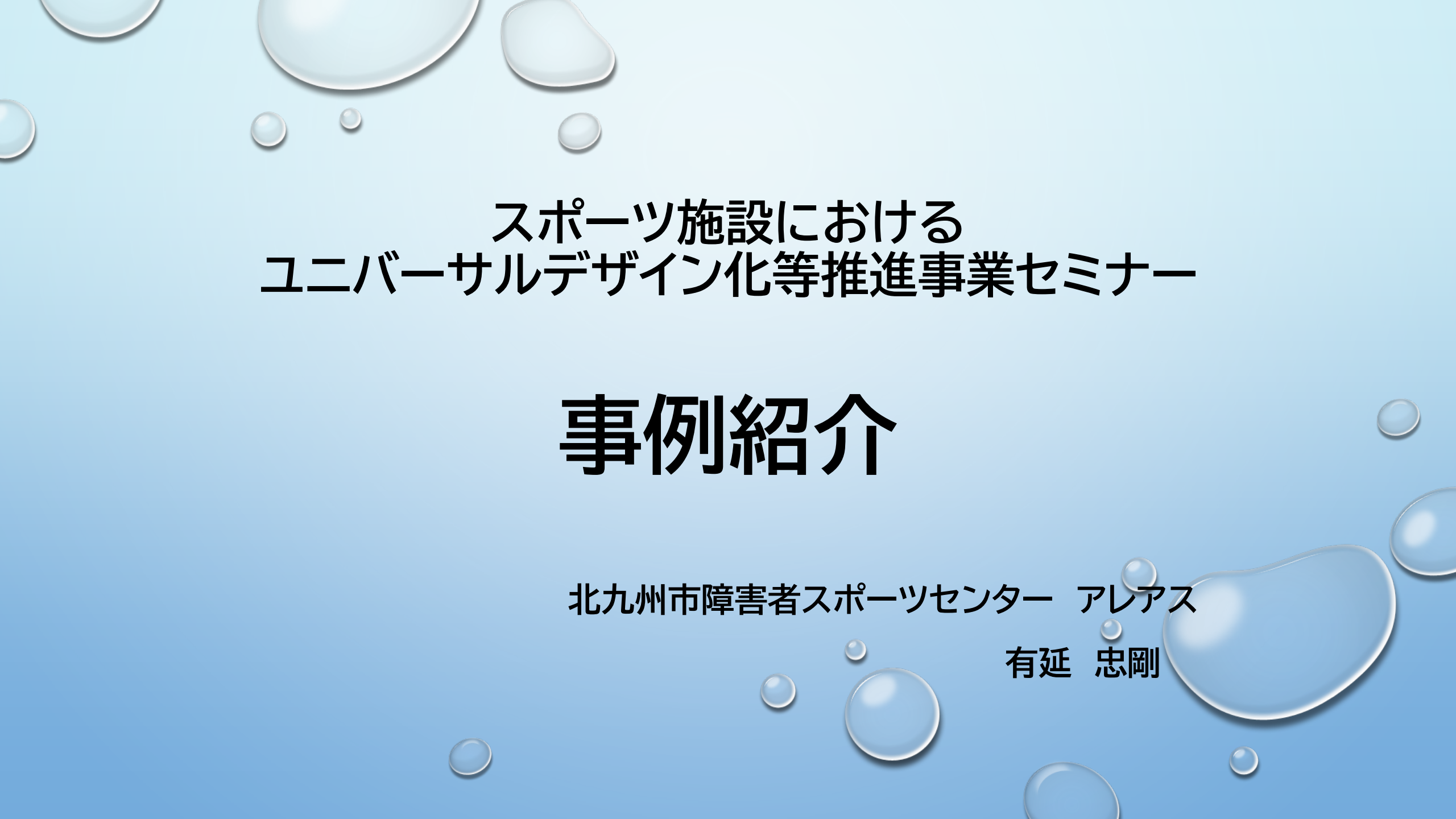




スポーツ施設における ユニバーサルデザイン化等推進事業セミナー

事例紹介

北九州市障害者スポーツセンター アレアス

有延 忠剛

発表内容

- 1 アレアス設立までの流れ
- 2 改修等のポイント
- 3 管理・運営のポイント
- 4 今後の展望

アレアス設立までの流れ

S51年10月 （勤労身体障害者体育施設）

「北九州市障害者スポーツセンター」が開設（小倉南区）

施設内容：体育館（バスケットコート1面分）、卓球室（3台）、会議室
屋外プール（7・8月のみ運営・市民プールを兼ねる）

配置スタッフ：正規4（所長・事務員・指導員2）、非正規2（事務補助・指導員）

運営：社会福祉法人 北九州市福祉事業団

開設よりH17年度までの30年間、北九州市と特命随意契約を行う

H18年より指定管理者として運営

※平成15年頃から、障害者団体による、「一年を通して使える屋内温水プールとトレーニングジムの機能を兼ね備える、新たな障害者スポーツセンターの設置」を求める声が高まっていった。その一方で…

平成元年10月25日 新聞掲載記事

北九州市の市有土地信託 運動施設が2日起工式

北九州市が未利用市有地の有効活用のため三發信託銀行に土地信託した総合スポーツ施設の起工式が十一月二日、同市小倉北区三郎丸の現場で行われる。

この市有地は、福岡県の職業訓練校跡地の約半分（敷地面積五千五百六十四平方メートル）で、三發信託が来秋完成をめどに施設を建設、井筒屋がフィットネスクラブとして運営する。土地信託の採用は福岡県下の自治体では初めて。市では信託期間の二十一年間に信託配当や土地、建物の固定資産税として約八億円の収入を見込んでいる。

施設は「フィットネススクラブ EXG（エッグ）三萩野」。三發信託が鉄筋コンクリート造りの地上三階地下一階（延べ床面積約一万三百平方メートル）のビルを約二十二億円で建設する。施設にはエアロビクススタジオのほか七十台収容の駐車場、プール、

サウナ、ゴルフ練習場、二面のテニスコートなどが入居。地元企業の井筒屋が総合アスレチッククラブとして運営する。

建設工事にあたっては、暴力団などの介入を排除するため民間施工工事として初めて警察、行政、業者が連絡会議を設置する。北九州方式を採用。自治体が土地信託を採用するのは、九州では熊本県、大分県、大分県湯布院町に次いで四番目。



アレアス設立までの流れ

平成22年の土地信託の期間満了に伴い、市がその後の土地活用の検討を行った結果、既設の施設をバリアフリー化し、障害者スポーツセンターとして再利用することに決定。

平成22年6月 「障害者スポーツセンター整備事業」として

補正予算を計上(基本設計・実施設計:18,900千円)

平成23年 改修工事・指定管理者の公募・選定(改修工事:514,994千円)

平成24年2月 新障害者スポーツセンター竣工

平成24年4月 オープン

北九州市
障害者スポーツセンター
アレアス

北九州市障害者スポーツセンター



北九州市障害者スポーツセンター アレアス

開設 平成24年4月22日

所在地 福岡県北九州市小倉北区三郎丸三丁目4番1号

開館時間 9:00～21:00

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

規模等 地下1階、地上3階建て

延床面積:約10,300㎡(前障害者スポーツセンターは2,008㎡)

施設内容 1階:屋内プール(25M・5コース)、トレーニング室、スタジオ1・2

2階:卓球室(6台)、STT室1・2、多目的室、会議室1～3、団体連絡室

3階:体育館(バレーコート2面)

地下:駐車場(63台)

改修等のポイント

改修等のポイント

「現場見学会」及び「意見交換会」の開催

「北九州市障害福祉団体連絡協議会」及び「北九州市障害者スポーツ協会加盟団体」を対象とし、それぞれに開催。意見の集約を行なった。

「移動支援・情報支援」

エレベーター、スロープ、手すり、点字、点字ブロック、自動感知音声案内

引き戸、間口幅拡大、パトライト、避難用スロープ、理解しやすい案内板等の設置

「利便性向上」

車いす用トイレ、多目的トイレ、家族更衣室、広い空間のシャワー室等の設置

（電光掲示板の設置等の意見も出たが設置は見送られた。）





















管理・運営のポイント

運営の基本方針(指定管理者募集要項より)

- ①本市における障害者スポーツ振興の拠点として、障害のある人が安心して利用でき、健康・体力づくりから競技能力の向上まで、幅広いニーズに対応できる施設を目指すとともに、誰もが健康づくり等のために気軽に利用できる施設とする。
- ②障害のある人の利用ニーズに応えられるよう、障害者専用利用時間帯の設定や、体育館・多目的室等の障害者団体優先予約の仕組みを設ける。
- ③障害のある人のニーズに応じたスポーツ教室(水泳、トレーニングなど)を実施するとともに、一般市民を対象に、プールやスタジオにおいてバラエティに富んだ魅力あるスポーツ教室を実施する。

指定管理者	北九州市障害者スポーツセンター運営共同事業体 (社福)北九州市福祉事業団とミズノスポーツ(株)による共同運営
業務分担	ミズノスポーツ:一般向けプログラム、プール・トレーニング室の運営 福祉事業団:センターの管理運営全般、障害者向けプログラム
指定管理料	226,000千円/年
組織体制 (2交代)	所長、主査2、管理・受付スタッフ7名、指導スタッフ12名(事業団) 一般プログラム運営、プール・トレーニング室運営10名(ミズノ)
使用料収入	北九州市へ納付 一般利用者:有料、障害者:無料(但し一般プログラム受講時有料)
その他	週に3回障害者専用日を設定(木曜12~21時、土・日9~12時)



北九州市障害者スポーツセンター 「アレアス」をご利用される皆さまへ

当センターは、障害のある方の体力増強などを目的に設置された、市内唯一のスポーツ施設です。

市内には、当センター以外に、障害のある方が安心して利用できる施設が多くありません。

このため、当センターは、障害のある方の健康維持や社会参加、自己実現などのための貴重な場となっています。

このような事情を理解いただき、お互いが施設を快適に利用できるよう、何卒ご協力をお願いします。



高次脳機能障害の理解のために

脳卒中などの病気や交通事故などで脳の一部分がキズを受けると、その脳機能により特定の症状が出ます。身体のまひや視覚障害の障害とは別に、思考・記憶・計画・注意などの脳機能の一部に障害が起きた状態を、高次脳機能障害といいます。

脳損傷後の後遺症

外見からわかりにくい・一人ひとり症状が違う

高次脳機能障害の色々な表現

注意障害

集中力が続かない、気が散りやすい、複数のことを同時にやれない。

記憶障害

病気やケガの前のことはよく覚えていたのに、新しいできごとを覚えられない。

計画

目標を達成するために計画を立てることも、計画を立てても実行できない。

元氣になってよかったね！

でも、前と少し変わってしまった…？



さあ、お仕事、がんばりましょう！

あれ？ なんかさっぱりとわかんない…

実行機能障害

段取りよくものごとを進めることができない、優先順位がつけられない。

空間認識障害

目では見えているが、片側の空間を見逃してしまう。

日常生活動作

食事や洗濯などの細かい作業ができない、作業が滞ってしまう。

このリーフレットについて

こんなことに困ることがあります

認知症の症状や原因、予防法などについて、わかりやすく説明しています。

認知症とは?
認知症とは、記憶力や判断力、行動力などが低下し、日常生活に支障をきたす状態です。原因は脳の病気や老化などです。

認知症の症状
記憶力が低下し、近頃のことや場所を忘れる、物忘れがひどくなる、判断力が低下し、金銭管理や食事管理が難しくなる、行動力が低下し、徘徊や不安定な行動が増えるなどがあります。

認知症の予防法
認知症を予防するためには、脳の活動を活性化させることが大切です。定期的な運動、読書、趣味の活動、人との交流などが効果的です。

認知症の診断と治療
認知症の診断は、医師による問診や検査が必要です。治療は、認知症の種類や症状に応じて異なります。薬物療法や認知症ケアなどがあります。

認知症のケア
認知症のケアには、認知症ケアマネージャーや介護士などの専門職が関わります。認知症の症状や状態に応じて、適切なケアを提供します。

認知症の症状や原因、予防法などについて、わかりやすく説明しています。

認知症とは?
認知症とは、記憶力や判断力、行動力などが低下し、日常生活に支障をきたす状態です。原因は脳の病気や老化などです。

認知症の症状
記憶力が低下し、近頃のことや場所を忘れる、物忘れがひどくなる、判断力が低下し、金銭管理や食事管理が難しくなる、行動力が低下し、徘徊や不安定な行動が増えるなどがあります。

認知症の予防法
認知症を予防するためには、脳の活動を活性化させることが大切です。定期的な運動、読書、趣味の活動、人との交流などが効果的です。

認知症の診断と治療
認知症の診断は、医師による問診や検査が必要です。治療は、認知症の種類や症状に応じて異なります。薬物療法や認知症ケアなどがあります。

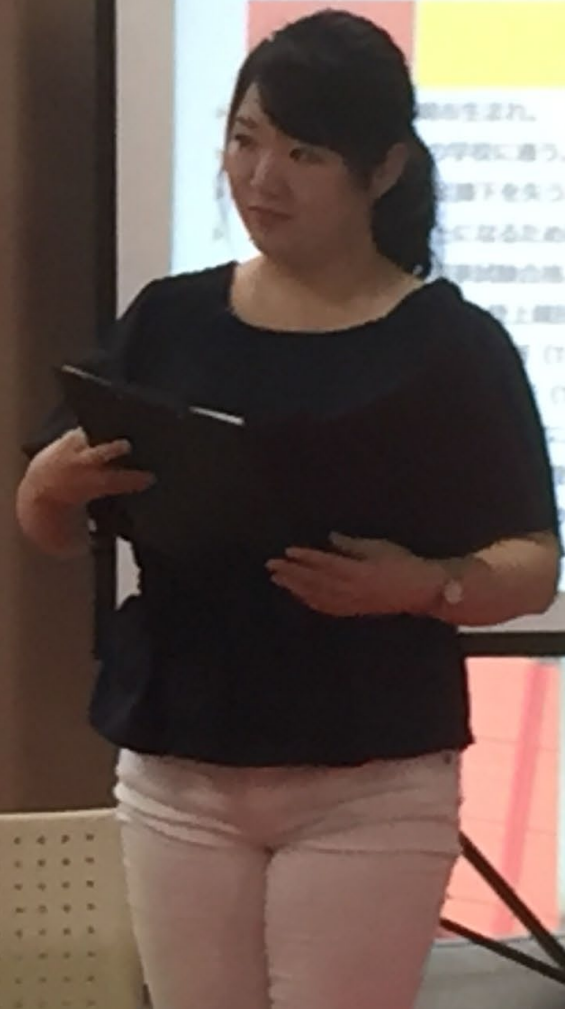
認知症のケア
認知症のケアには、認知症ケアマネージャーや介護士などの専門職が関わります。認知症の症状や状態に応じて、適切なケアを提供します。







フェス 2017



プロフィール

...の生まれ。
...の学校に通う。
...を下を失う。
...になるため根本の根本的な医療
...の試験合格、有明会社での活動
...の上昇を目指す
... (T43) のクラスで日本
... (T43) のクラスで日本
... パラ、全国障害者入
... のために多くのブラ
... 60、お電話400-660













今後の展望

北九州市障害者スポーツセンター利用者数(R4は予測値)



<ハード面>

より良い状態で、より長く市民に愛され、親しまれる施設であり続けるために、施設の設備・機能の保全および改修を、計画的に進めていくことが重要である。

<ソフト面>

アレアスでは、一部ではあるものの障害についての理解がまだ十分でないと感じることがある。引き続き粘り強く取り組みを進めていくとともに、アレアスだけでなく、他施設との関係性を深め、情報提供や様々な利用者を受け入れるためのサポートなどを行い、アレアスの存在価値を高めていきたい。

愛称「アレアス」

市民に対して市が一般公募を行い、応募作品の中から最優秀作品に選定されたもの

<応募者の命名理由>

「アレ」は、ドイツ語で「みんな」という意味の「alle(アレ)」から。

「アス」は、「明日、未来」、アスリートの「アス」から。

「アレ」と「アス」、2つを合わせた造語。

障害のある人、ない人、皆がスポーツを楽しめる、そして未来に生きがいを持てる、そんな想いを込めました。

<市の選定理由>

本市では、新・障害者スポーツセンターを、未来に向けた共生のまちづくりの象徴として、障害のある方とない方が隔たりなく、ともにスポーツに親しむ施設とすることを目的としており、こうした市の考えと応募者の命名の思いが一致したことから選定しました。



ご清聴ありがとうございました